建設工事、測量・コンサルタント・役務委託業務の
入札参加資格登録をされている皆様へ

平成24年2月24日
大阪府都市整備部

設計図書等の構成の変更ついて

都市整備部が発注する建設工事や業務委託等におきましては、これまで契約書第１条の設計図書として特記仕様書や図面の他、数量計算書や金抜設計書を提示していましたが、契約事項とならない積算条件や仮設等の内容が多数表示され、また数量計算書等の根拠資料が膨大である等、契約内容が分かりにくい面がありました。そこで、設計図書における契約内容の明確化・簡素化を目的とし、下記のとおり設計図書等の構成を変更します。

記

１　設計図書の課題と変更概要

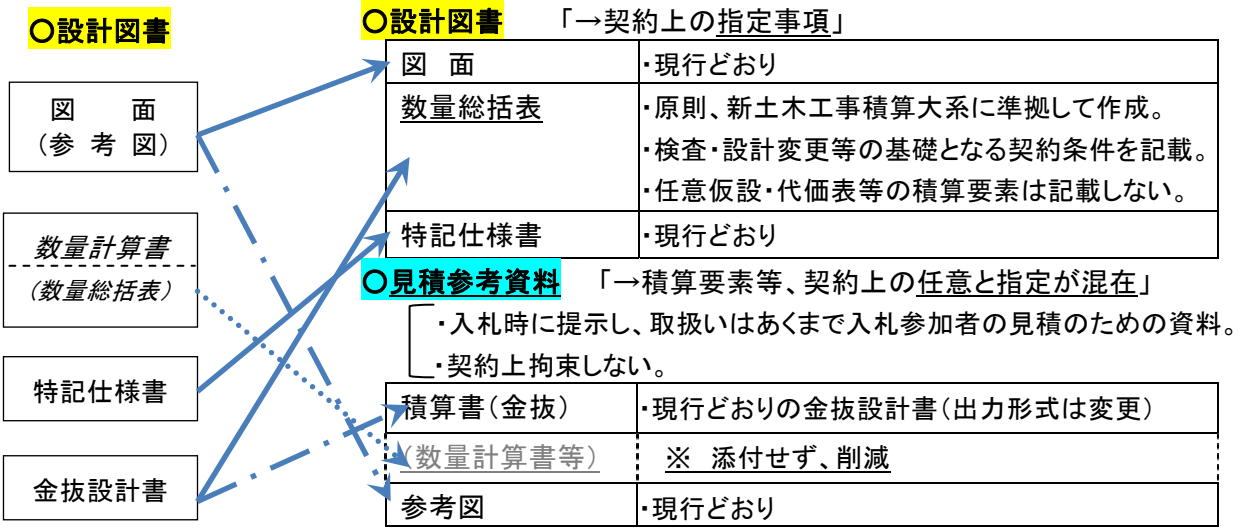
① 設計図書に契約事項と積算要素が混在しており、契約内容の明確化が必要。
② 設計図書が膨大で分かりにくいので、本来定めるべき設計図書を再整理。

↓

① 金抜設計書のうち契約条件のみを表示した「数量総括表」を設計図書とする。
　金抜設計書や参考図は設計図書ではなく、「見積参考資料」とする。
② 「数量総括表」を原則、新土木工事積算大系に準拠させて、統一。
　数量計算書（数量集計過程を示したもの）は提示しない。

・「見積参考資料」は、入札参加者の見積のため入札時に提示する契約上拘束しない資料です。
　従来の金抜設計書と同内容の資料等を提示します。
・設計図書の「数量総括表」は出来形確認・部分払・設計変更等、契約の基礎となります。

（改　正）



２　適用時期及び適用案件

平成24年4月1日以降に入札公告を行う建設工事・建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業務（測量・調査・設計等）及び一部の役務委託に適用します（設備・建築工事や単価契約等は適用外）。
適用案件は入札公告等でご確認下さい。

（問い合せ先）
大阪府都市整備部事業管理室
技術情報グループ
電話：代表　06－6941－0351（内線　2962）

【設計図書等の構成】

入札公告に添付する「設計図書」や「見積参考資料」の区分と概要

区　分	名　称	記　載　内　容	備　考
設計図書	設計書表紙	契約番号・工事（業務）名・工事（履行）場所・工期・工事（業務）種別・大要等を記載	
	特記仕様書	案件毎に要求される技術的基準や施工条件等	
	数　量 総 括 表	・契約工種及び数量（通常は新土木工事積算大系における細別(ﾚﾍﾞﾙ4）/規格(ﾚﾍﾞﾙ5）まで〕を記載。 （任意仮設等1式契約の数量は明示しない。）	
	図　面	・目的物の形状・寸法・構造等にかかるもの ・箇所図	
見　積 参考資料	見積参考 資料表紙	・入札時の見積に関連する提示内容や注意事項等を記載。	
	積算書 （総括情報表） （本工事費） （代価表）	・設計図書以外に積算の内容や1式契約（任意仮設等）の数量、歩掛条件区分（一部）等を記載。	
	参 考 図	・任意仮設の形状・寸法・構造等にかかるもの ・二次製品等の具体的な製品を例示する場合の内容 ・設計上想定した特殊工法にかかる内容を例示する場合の内容	
	そ　の　他	・その他、総合評価落札方式の技術提案等において必要な資料等。	

※　共通仕様書等、ホームページ上に掲載された図書を、特記仕様書等で契約上の図書としている場合、個別に添付しませんが、それらも設計図書に含まれます。

※　各設計図書の定義は共通仕様書で規定します。また、見積参考資料の定義は特記仕様書で規定します。

【数量総括表】

・「数量総括表」は、新土木工事積算大系に準拠し、契約数量・契約単位（通常は「細別（レベル4）」毎）及び規格（レベル5）を表示します。

◆(参考)工種体系ツリーの各階層（レベル）定義（「新土木工事積算大系の解説」より一部抜粋）

レベル	名 称	内　容	補 足 説 明	備考(例)
レベル4	細　別	工事を構成する基本的な単位目的物もしくは単位仮設物であって、単位とともに契約数量を表示するレベル	検収対象となる単位目的物と検収対象とならない単位仮設物がある。積算・見積り時にはこのレベル項目が価格算出の基本となる	コンクリート 鉄筋
レベル5	規　格	レベル4を構成する材料等の客観的な材質・規格ならびに契約上明示する条件等	レベル4に付随して表示するレベルで、総括表では原則としてレベル4と同行に記述されるレベル	24-8-25-N （ｺﾝｸﾘｰﾄの規格）
レベル6	積算要素	レベル4の価格算定上の構成要素であって、基本的には契約上明示しないもの	費用構成としての積算項目と、積算上の最小構成単位としての歩掛項目から構成されている	【積算項目】 自工区外への運搬費 【歩掛項目】 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬

・任意仮設（1式契約）の対象となる細別（種別）は、契約上数量を規定せず、「数量総括表」では「１式」表示となります。

◆「数量総括表」様式例

数量総括表

頁0-0001

①レベル4行の数量・単位欄が「1式」以外の場合、配下のレベル6行は積算要素であり、数量・単位欄は契約事項でないため非表示としている。
②レベル6行の「工事区分・工種・種別・細別」欄の表示内容のうち「規格(材質)」に係るものは契約事項とし、その他積算要素(機械・工法名・歩掛条件等)については契約事項とならない。

			（当 初）		
工事区分・工種・種別・細別・規格	単	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	備考
＊＊本工事費＊＊					
1 道路改良 レベル1(工事区分)	式		1		
2 道路土工 レベル2(工種)	式		1		
3 掘削工 レベル3(種別)	式		1		
4 掘削（土砂） レベル4(細別)	式		1		
2 舗装工 レベル2(工種)	式		1		
3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 レベル3(種別)	式		1		
4 表層 レベル4(細別)	m2		100		
6 表層工 再生 密粒度(20) 車道 1層当り仕上厚5cm					
＊直接工事費＊	式				

一式契約(任意仮設)の細別は、積算書で数量計上(例「100m3」)していても数量明示されず(1式表示)、配下のレベルも表示されない

レベル6(積算要素:歩掛項目)の数量・単位は非表示となる

レベル5(規格)の明示として活用（レベル6の情報も含まれる）

【見積参考資料】

≪見積参考資料の取扱いについて≫

※特記仕様書に記載：

「見積参考資料は、あくまでも入札参加業者の適正・迅速な見積りに供するため、発注者が想定した設計積算の内容を参考に示した一資料にすぎず、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。このため、施工方法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めるものとする。工事の実施に当たってはこの趣旨を十分理解し、事故発生等を招かないよう、その防止措置に留意すること。」

≪積算書について≫

・見積参考資料として、従来の金抜設計書と同内容の積算書（「総括情報表」・「本工事費」・「代価表」）や参考図等を、原則として提示します（内容は案件毎に異なる場合があります）。

・任意仮設の対象細別（種別）は、積算書でこれまでのように「任意」と記載しません。また、原則として積算数量や代価表を他工種と同様に提示します。

◆「積算書」様式例

総 括 情 報 表

頁0-0001

事務所コード	90
事務所名	事業管理室
設計書名	実施設計書　　当初
設計書番号	
変更回数	0
事業コード	
事業名	
単価区分	1実施単価
単価地区	15摂津市
単価適用年月日	0-23.11.01(0)
諸経費体系	1実施

	当　世　代	前　世　代
諸経費工種	04　道路改良	
施工地域区分	10　市街地	
契約保証区分	10　金銭的保証	

＊＊本工事費＊＊

レベル4行の数量・単位欄が「1式」以外の場合、配下のレベル6行は積算要素であり、数量・単位欄は契約数量ではなく単位数量に対する内訳数量を表示している。

頁0-0003

費 目・工 種・施 工 名 称	数 量	単位	単価(円)	金額(円)	備　考
＊＊本工事費＊＊					
1　道路改良	1	式			YOHZZ
2　道路土工	1	式			YOH1Y
3　掘削工	1	式			YOH1Y200
4　掘削（土砂）	100	m3			YOH1Y200683
6　バックホウ掘削積込 地山の掘削積込　作業障害なし 砂質土（普通土）	1	m3			号代価表
2　舗装工	1	式			YOI24
3　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	1	式			YOI24212
4　表層	100	m2			YOI2421243B
6　表層工 再生　密粒度(20) 車道　1層当り仕上厚5cm	1	m2			価表

一式契約(任意仮設)の数量、及び配下のレベル6も表示。

通常、契約事項でない レベル6の数量も表示される。

第0-0027号代価表

表層工　　再生　密粒度（２０）
　　車道　１層当り仕上厚５ｃｍ

頁0-0036

名　称　・　規　格	数量	単位	単　価(円)	金　額(円)	備　　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生アスファルト混合物 密粒度（２０）	12.57	t			
アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用		L			
アスファルトフィニッシャ運転 ホイール型１．４～３．０ｍ		日			第0-0028号代価表
振動ローラ運転 コンバインド型質量３～４ｔ 排出ガス対策型１次基準		日			第0-0029号代価表
諸雑費		%			
＊＊＊合計＊＊＊	100	ｍ２			
＊＊単位当り＊＊	1	ｍ２			